

2020年4月9日

学校法人 大東文化学園
理事長 中込 秀樹 様

大東文化学園教職員組合連合
執行委員長 大杉 由香

コロナウィルス流行に伴う諸問題に関する要望書

大東文化学園教職員組合連合は組合員の総意に基づき、コロナウィルス流行に伴い、学生および教職員の生活にも大きな影響が出つつある状況について、下記のような対応を可及的速やかに求める。

記

1. 教員(非常勤講師を含む)および職員(アルバイト職員等の非正規職員を含む)を対象とした健康および生活に関する調査の実施

専任・非専任を問わず全教員職員の健康状態の調査を行うべきである。また遠隔授業の実施の前提となるネット環境の状況の調査の実施を求める。特に、非常勤講師が多くの授業を担っていることから考えても、非常勤講師を対象としたこうしたアンケート調査は重要と考える。可及的速やかに行うことを求めたい。

2. 罹患者が出た場合を考えて、対策のフローチャートを可及的速やかに HP などで公開すること

すでに罹患者が出た場合の対応策をフローチャートで公開している大学もあり、同様の措置を可及的速やかに行うことを求めたい。

3. 授業料納付について学生及びその保証人等、第一高校生徒、青桐幼稚園園児及びその保護者に対し最大限の配慮を行うこと

コロナウィルス流行に伴う経済難により授業料納付が困難になる学生・生徒・園児に対して、授業料納付の猶予、除籍までの猶予期間の延期、授業料の4分割納付等、考慮できる限りのことを最大限行うこと。

4. 休業補償について

現在、非正規職員について6割の休業補償となっているが、最低賃金よりやや高い程度の給与のうえ、6割ということになれば、長期的には生活が立ち行かなくなる恐れがある。長期化した場合に6割を超えた最大の配慮を求めたい。

以上